T:41 -	アーカノブ次約も其体にした第一次出現上戦期、上戦後の英国ニジナルロの研究				
Title	アーカイブ資料を基礎とした第二次世界大戦期・大戦後の英国ラジオ作品の研究				
Sub Title	An archival study of British radio works during the Second World War and its aftermath				
Author	永嶋, 友(Nagashima, Yu)				
Publisher	慶應義塾大学				
Publication year	2022				
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2021.)				
JaLC DOI					
Abstract	2021年度は、第二次世界大戦前・中・後のイギリス・アイルランドのラジオ放送とジェイムズ・ジョイス、ルイ・マクニース、オスカー・ワイルド、ヴァージニア・ウルフのラジオ作品についての研究発表を計4本行なうことができた。そのうちのジョイスとウルフに関するものは、シンポッムのパネリストとして発表したものである。ジョイス、ワイルド、ウルフについての論考は、博士論文で扱わなかった内容で、本年度に新たに開拓したものである。また、博士論文の一部を発展させ、第二次世界大戦期の英米関係に関するマクニースのラジオ作品についての研究論文と、第二次世界大戦期の英米関係に関するラジオ作品についての研究論文と、第二次世界大戦期の大半関係に関するラジオ作品についての研究論文と、第二次世界大戦期の大半関係に関するラジオ作品についての研究論文と、第二次世界大戦期の大半関へを持続に関するラジオ作品についての研究論文と、第二次世界大戦期の大半関へを持続に関するラジオ作品についての研究論文と、第二次世界大戦間が大きないできた。2本とも、今まで国内・海外で論じられたことがない作品を論じているので、独自性のある内容になっている。さらに、2016年に執筆したジョイスの小説『ユリシーズ』とパラブルに関する研究ノートを大幅に加筆・修正・発展させ、研究論文としてまとめることができた。博士論文ではラジオが起るの男子では一般で語文として第分は大きないできた。博士論文ではラジオが送との関係性を深めることができた。このことは、新モダニズム期の著名な作家とラジオ放送との関係性を深めることができた。このことは、新モダニズム研究の一分野であるラジオ・モダニズムを語る上で重要になってくる。博士論文や本年度の研究を基にした、第二次世界大戦期イギリスのラジオ作品に関する単著の研究書では、個々の作家・作品の考察をした上で、最終的には、それらが表わすラジオ・モダニズムとはどのようなものかを追求することになる。2021年度に、その研究書の出版計画書を作成したこと、また、出版社とのやりとりを開始できたことも大きな収穫である。2023年度までに出版することを目標に、今後も研究に従事したい。In the 2021 academic year, I delivered four papers on British and Irish radio broadcasting before, during, and after the Second World War and James Joyce, Louis MacNeice, Oscar Wilde at four academic meetings. As to the two on Joyce and Woolf, I read them as a symposium panelist. The papers on Joyce, Wilde, and Woolf are not from my Ph.D. study but from and based on my research newly conducted during this academic year. Developing some contents of my Ph.D. thesis, I could publish two journal articles: one on MacNeice's radio works about the Anglo-American relation during the Second World War and one on the radio works that have never been discussed by domestic and international researchers. I could also publish a journal article, drastically revising and developing my 2016 research note on Joyce's novel Ulysses and parable. In this academic year, I could deepen my research on the relation between modernist famous writers such as Joyce and Woolf and radio broadcasting. This will help me discuss radio modernism, a research field of new modernist studies, in the future. In the monograph I am writing, which dis				
Notes					
Genre	Research Paper				
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2021000003-20210137				

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2021 年度 学事振興資金 (個人研究) 研究成果実績報告書

研究代表者	所属	法学部	職名	専任講師	補助額	300	(A)	千円
柳允1\ 汉 有 	氏名	永嶋 友	氏名 (英語)	Yu Nagashima		300 (A) -	TI	

研究課題 (日本語)

アーカイブ資料を基礎とした第二次世界大戦期・大戦後の英国ラジオ作品の研究

研究課題 (英訳)

An Archival Study of British Radio Works during the Second World War and Its Aftermath

1. 研究成果実績の概要

2021 年度は、第二次世界大戦前・中・後のイギリス・アイルランドのラジオ放送とジェイムズ・ジョイス、ルイ・マクニース、オスカー・ワイルド、ヴァージニア・ウルフのラジオ作品についての研究発表を計4本行なうことができた。そのうちのジョイスとウルフに関するものは、シンポジウムのパネリストとして発表したものである。ジョイス、ワイルド、ウルフについての論考は、博士論文で扱わなかった内容で、本年度に新たに開拓したものである。また、博士論文の一部を発展させ、第二次世界大戦期の英米関係に関するマクニースのラジオ作品についての研究論文と、第二次世界大戦期イギリスの国内戦線に関するラジオ作品についての研究論文を出版することができた。2本とも、今まで国内・海外で論じられたことがない作品を論じているので、独自性のある内容になっている。さらに、2016年に執筆したジョイスの小説『ユリシーズ』とパラブルに関する研究ノートを大幅に加筆・修正・発展させ、研究論文としてまとめることができた。博士論文ではラジオ作品のテーマごとに章分けを行い、ラジオ作品を考察していたが、本年度は作家ごとに考察を深めることができた。また、ジョイス、ウルフといったモダニズム期の著名な作家とラジオ放送との関係性を深めることができた。このことは、新モダニズム研究の一分野であるラジオ・モダニズムを語る上で重要になってくる。博士論文や本年度の研究を基にした、第二次世界大戦期イギリスのラジオ作品に関する単著の研究書では、個々の作家・作品の考察をした上で、最終的には、それらが表わすラジオ・モダニズムとはどのようなものかを追求することになる。2021年度に、その研究書の出版計画書を作成したこと、また、出版社とのやりとりを開始できたことも大きな収穫である。2023年度までに出版することを目標に、今後も研究に従事したい。

2. 研究成果実績の概要(英訳)

In the 2021 academic year, I delivered four papers on British and Irish radio broadcasting before, during, and after the Second World War and James Joyce, Louis MacNeice, Oscar Wilde at four academic meetings. As to the two on Joyce and Woolf, I read them as a symposium panelist. The papers on Joyce, Wilde, and Woolf are not from my Ph.D. study but from and based on my research newly conducted during this academic year. Developing some contents of my Ph.D. thesis, I could publish two journal articles: one on MacNeice's radio works about the Anglo-American relation during the Second World War and one on the radio works relating to the British home front during the war. The two articles show originality, dealing with works that have never been discussed by domestic and international researchers. I could also publish a journal article, drastically revising and developing my 2016 research note on Joyce's novel Ulysses and parable. In this academic year, I could deepen my research on each author, although in my Ph.D. thesis I divided chapters by theme of radio works and analysed them. I could also deepen my research on the relation between modernist famous writers such as Joyce and Woolf and radio broadcasting. This will help me discuss radio modernism, a research field of new modernist studies, in the future. In the monograph I am writing, which discusses British radio works during the Second World War, based on my Ph.D. thesis and the research I have done in this academic year, I am going to explore what radio modernism means in discussing each writer and radio work. I could write up a publication plan for the monograph and start communicating with a publisher from the 2021 academic year, which is another fruit of my work. I will continue to make efforts in this research so as to publish the book by the 2023 academic year.

3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
永嶋 友	研究発表「ジョイスとラジオ――リスナーの感覚・心理・参加を中心に」(第 33 回研究大会「シンポジウム I: ジョイスと音響メディア」)	日本ジェイムズ・ジョイス協会	2021 年 6 月 12 日			
永嶋 友	研究発表「ルイ・マクニースの第二 次世界大戦期のラジオ放送作品と 英米関係」	日本アイルランド協会	2021年11月28日			
永嶋 友	研究発表「第二次世界大戦期のラジオ劇版「カンタヴィルの幽霊」」	日本ワイルド協会	2021年12月11日			
永嶋 友	研究論文「多彩な可能性を秘めた「プラムのパラブル」――パラブルと 『ユリシーズ』」	教養論叢	2022 年 3 月			
永嶋 友	研究論文 'Crossing Lines and Closing Gaps: BBC Radio Feature Series Britain to America (1942-43) and Louis MacNeice"	Éire: Irish Studies	2022 年 3 月			
永嶋 友	研究論文 'Radio, the Home Front, and Official/Unofficial Cultures in Britain during the Second World War'	慶應義塾大学日吉紀要 英語英米 文学	2022 年 3 月			

永嶋 友	研究発表「ヴァージニア・ウルフの	英詩研究会	2022 年 3 月 28 日
	散文詩・詩的散文からルイ・マクニ		
	一スのラジオ劇・フィーチャーへ」		
	(第 20 回研究会シンポジウム「散		
	文詩とは何か――ドイツ・ロマン派か		
	ら 20 世紀アメリカ詩まで」)		